

大阪市工業用水道特定運営事業等

四半期事業報告書（第1四半期）

令和4年8月

みおつくし工業用水コンセッション株式会社

目次

I	事業実施状況	1
I-1	事業概要	1
I-2	実施体制	2
I-3	内部統制	2
II	業務実施状況	3
II-1	施設管理	3
II-2	管路管理	5
II-3	お客さまサービス	7
II-4	その他	10
III	事業収支	11
III-1	財務状況	11
III-2	各種使用水量	11
III-3	契約者数（工場数）	11
IV	令和4年度第1四半期時点でのKPIの状況	12

I 事業実施状況

I-1 事業概要

1. 事業名称

大阪市工業用水道特定運営事業等

2. 施設の規模等

(1) 1日当たり給水能力

151,000 m³

(2) 管路の総延長

292 k m

(3) 給水区域

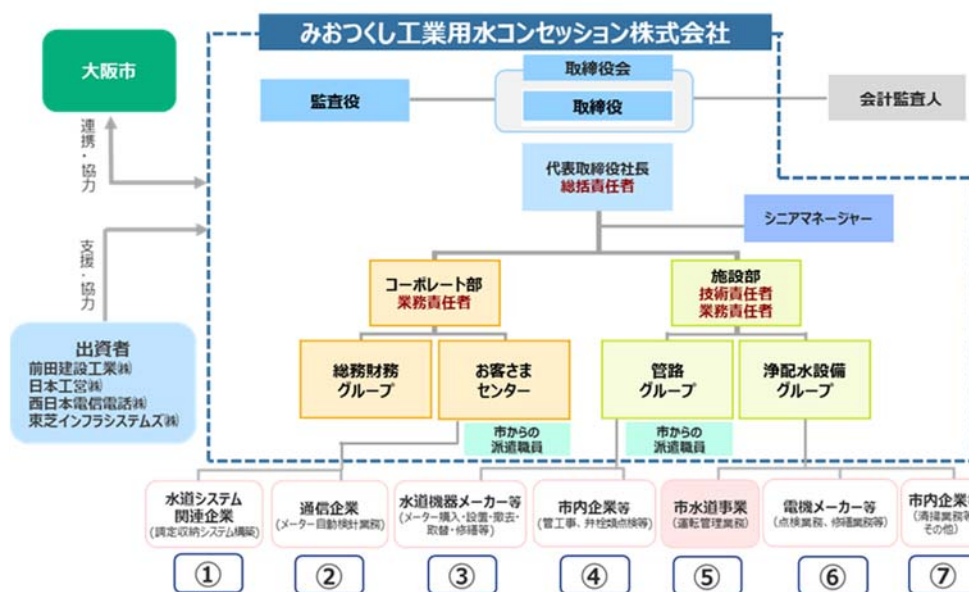
大阪市内の 24 行政区のうち、19 行政区の一部地域



1-2 実施体制

実施体制は以下の通り。

実施契約第28条第1項に規定する事業体制図



受託・請負業務一覧は以下の通り。

受託者または請負者		委託業務または請負業務
①	水道システム関連企業	サーバー移設、システム改修・保守
②	通信企業	メーター通信結線等及び自動検針システム運用保守・検針
③	水道機器メーカー等	工業用水道メーター導入
④	市内企業等 (管工事、弁栓類点検等)	状態監視保全装置導入、漏水調査、水道メーター開閉栓、交通誘導他
⑤	市水道事業	東淀川浄水場等運転管理等
⑥	電機メーカー等 (点検業務、修繕業務等)	鶴見・桜宮配水場保守管理、建物維持管理、管理運営等に関する技術支援、水質計測機器他
⑦	市内企業等 (清掃業務等)、 その他	鶴見・桜宮配水場電力供給、機械警備、浄化槽点検・清掃、お客さまサービスに関する業務他

1-3 内部統制

内部統制の基本方針、行動憲章を定め、透明性と公正性が高いコーポレートガバナンスと企業倫理に優れた内部統制として、コーポレート部と施設部の2部門を設置。

代表取締役社長を統括責任者、各部門長を業務責任者とし、複層的なセルフモニタリング体制を構築。

第1四半期は、会社法、社内規定に基づき取締役会と定時株主総会を6月に実施。

事業報告については、監査役の監査に加え会計監査人による外部会計監査を5月に実施。

II 業務実施状況

【凡例】

計画：令和4年度単年度事業計画書等の計画

実績：令和4年度第1四半期の実績

今後：令和4年度第2～4四半期の予定

II-1 施設管理

1. 業務内容

(1) 浄配水施設

浄配水施設の保守点検、修繕作業など施設の保全、健全度調査*を実施。

*健全度調査：運営権事業初年度に運営権設定対象施設の健全度を点検調査

ア) 施設整備

① 鶴見配水場 高圧引込設備（1号線 PAS）の更新

計画	令和4年度中の更新完了
実績	事前現地調査を5月に実施
今後	第2四半期から設計着手し第3四半期以降に施工予定

イ) 維持管理

施設設備の状態把握、異常等を早期に発見、対応するために行う日常巡視点検のほか、関係法令に基づく保安規程点検を実施。

① 状態監視装置の設置

計画	桜宮配水場を対象に状態監視装置を8～9月に導入
実績	設備異常・変状の早期発見および対応のため、鶴見配水場、桜宮配水場を対象に状態監視装置（温度測定装置）を6月に設置
今後	点検等で確認した異常・変状の状況に応じた状態監視を行い、必要により監視項目の追加を検討

② 維持管理データベースの整備

利便性・安全性の高い維持管理データ管理体制を構築。

計画	維持管理データの一元管理、遠隔地での資料閲覧と保存、利便性の高いデータ管理体制の構築、維持管理データ等の蓄積
実績	専用クラウドサーバーによる各種データの一元管理、遠隔地での資料閲覧と保存の体制を4月から構築
今後	利便性の高いデータ管理体制の構築と維持管理データ等の蓄積、市との情報共有方法の検討

③ 保守点検 ※点検等にあわせて健全度調査を実施

計画	<p>【 巡 視 】全施設 1回/週（健全度調査を含む）</p> <p>【SPC 保安規程点検*1】 1回/月、1回/年</p> <p>【水道局保安規程点検*2】 1回/月</p> <p>【清掃、保守点検、メーカー点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢凝集沈澱池（1号池）の清掃、保守点検 ➢電気・機械設備の保守点検、メーカー点検
実績	<p>【 巡 視 】全施設 1回/週（健全度調査を含む）</p> <p>【SPC 保安規程点検*1】 1回/月、1回/年</p> <p>【水道局保安規程点検*2】 1回/月</p> <p>【清掃、保守点検、メーカー点検】 適宜実施</p>
今後	<p>【 巡 視 】全施設 1回/週（健全度調査を含む）</p> <p>【SPC 保安規程点検*1】 1回/月、1回/年</p> <p>【水道局保安規程点検*2】 1回/月</p> <p>【清掃、保守点検、メーカー点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢凝集沈澱池（1号）の清掃・保守点検：1月実施予定 ➢電気・機械設備の保守点検、メーカー点検

*1SPC 保安規定点検：電気事業法施行規則第52条第2項に基づき、外部委託により実施。

*2水道局保安規定点検：東淀川浄水場、北港加圧ポンプ場（上工水共有施設）は、大阪市水道局が策定した保安規定に基づき、SPCが点検を実施



写真 巡視点検状況

④ 修繕

計画	保守点検等の結果に応じた修繕の実施、予算計画の策定
実績	<p>【東淀川浄水場】</p> <p>機械設備の修繕1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢フロキュレータ1-2号機：5月
今後	保守点検等の結果に応じた修繕の実施、予算計画の策定

II-2 管路管理

1. 業務内容

ア) 状態監視保全

大規模漏水の未然防止を目的として、状態監視保全の高度技術を用いた広域探査・範囲探査・箇所探査による地下漏水の早期発見、地上漏水の被害規模の縮小化を図る。

① 状態監視保全の実施

計画	重点監視路線（11.61 km）と大規模漏水リスク評価により選定した路線（0.15 km）を対象に、漏水音センサによる広域探査を開始 全ての管路を対象とした、衛星画像解析による広域探査を開始
実績	漏水音センサの設置を5月に完了し、状態監視を開始 衛星画像を4月に撮影
今後	重点監視路線（11.61 km）と大規模漏水リスク評価により選定した路線（0.15 km）の状態監視を継続 衛星画像等の広域探査に基づく、範囲探査を実施



写真 漏水音センサ設置（夜間交通規制）



写真 漏水音センサ設置イメージ

② 水量・水圧データの分析による状態監視

計画	水量・水圧データの変化傾向をもとに、管路の状態監視の試行
実績	浄配水場、テレメータでの水量・水圧の変化傾向を整理し分類
今後	変化傾向分類毎に要因を推定し、状態監視へ反映

イ) 管路更新等

① 移設または復元が必要な管路の更新

道路工事やその他の外的要因等に伴う、管路の移設または復元工事を行う。

計画	移設または復元工事の対象管路はなし
実績	移設または復元工事なし
今後	一部、来年度以降の早期着手に向けた協議を開始予定

② 管路の更新、末端管路の撤去

本年度の実施予定はなし。

ウ) 管路の維持保全

① 維持保全

対象施設の維持管理手法等を定めた「管路維持保全の実施手順書」に基づき、維持管理業務を行う。

計画	配水設備の維持修繕作業（突発漏水を除く）、幹線弁栓類等調査整備作業、水管橋・共同溝内配管の巡視、管路用地の巡視および点検
実績	維持保全業務に必要な現地情報収集と整理
今後	第2四半期以降、各巡視および点検を順次実施

② 緊急修繕

突発漏水等発生時、お客さまや関係者への連絡、現地立会、必要な修繕・調査等の対応。

計画	事象発生の都度対応
実績	緊急修繕：11件 ▶突発漏水：8件 ▶鉄蓋調整等：2件 ▶その他：1件
今後	事象発生の都度対応

【参考】過去実績 (件)

年度(通年)	H29	H30	R元	R2	R3	R4(第1四半期)
緊急修繕 (突発漏水)	11	18	11	17	15	8



写真 漏水修繕状況 (水管橋 添架管での修繕)

II-3 お客さまサービス

1. 業務内容

ア) 工水需要を喚起する施策

① 給水収益や新たな収入源の確保

計画	<p>【新規利用に向けた営業活動】</p> <p>地下水や河川水の利用者、新規着工事務所等の民間施設を対象 (目標値) コンタクト企業数: 100 社</p> <p>【試験料金プラン (選択制)】</p> <p>現行料金プランに加え、工水需要の喚起を促す試験料金プランを導入</p> <p>【新規開始支援策】</p> <p>利用開始時の負担低減のため、新規開始支援策の実施</p> <p>【お客さま満足度調査】</p> <p>お客さま満足度調査の実施</p>
実績	<p>【新規利用に向けた営業活動】</p> <p>コンタクト企業数: 36 社</p> <p>【試験料金プラン】</p> <p>お客さまへの試験料金プランの PR</p> <p>【新規開始支援策】</p> <p>新規申込者への新規開始支援を実施</p>
今後	<p>【新規利用に向けた営業活動】</p> <p>PR、コンサルティングを継続</p> <p>【試験料金プラン】</p> <p>PR、コンサルティングを継続</p> <p>【新規開始支援策】</p> <p>PR、ヒアリング・アンケート等を活用し継続</p> <p>【お客さま満足度調査】</p> <p>2月に実施予定</p>

イ) お客さまサービス

① 各種受付・問合せ対応

計画	窓口の一本化、お客さまからの相談・問合せ等を 24 時間 365 日受付・対応 HP にお問合せフォームを開設、お客さまからの意見・連絡等を随時受付
実績	問合せ等の都度、電話・メールで対応、原因究明や現地調査等を実施
今後	継続して実施

問合せ内容 (第 1 四半期)	件数
自動検針システム	7
メーター	0
漏水	9
料金 ^{*1}	23
給水工事 (開始中止手続・費用) ^{*2}	25
水質異常 (にごり水)	3
水圧異常・出水不良	2
異物漏出	1
その他 ^{*3}	35
合 計	105

(主な内容) *1 振込口座、請求内容の照会、請求書着日の問合せ、等

*2 新規給水検討、給水工事の費用、中止・撤去費用の問合せ、等

*3 図面照会、利用者変更、下水道についての問合せ、等

② 水道メーター点検

計画	使用水量等の確認 異常水量、検針不能等の際、お客さまへの連絡および原因究明等の対応
実績	定例点検日を毎月 1 日として、計画通り実施
今後	継続して実施

③ 利用料金の収納

計画	水道メーター点検結果に基づく利用料金算定と請求書送付
実績	請求金額 (A) 231.4 百万円 ^{*1} (税込み) 収納金額 (B) 230.6 百万円 ^{*1} (税込み) 徴収率 (B/A) 99.7% ^{*1} R4.4~5 月分の請求金額及び収納金額。(6 月分は 7/1 検針後請求のため含まない)
今後	継続して実施

④ システムによる利用者情報の管理

計画	各種システムの監視、操作権限者等の管理
実績	計画通り実施
今後	継続して実施

⑤ 情報発信

計画	工業用水道事業の情報を、HP 等で随時発信 漏水による断水等の情報を、お客さまへ向けて HP 等で発信
実績	HP リニューアル (4/1) 料金速報ツール、水質検査結果、漏水情報等を順次 HP 等で発信
今後	継続して実施

⑥ 給水施設、水道メーター、誤接合防止に関する業務

a. 使用開始に伴う工事申し込み

計画	新規給水申し込みの都度対応 (誤接合防止の確認を含む)
実績	新規給水申し込み：1 件
今後	継続して実施

b. 水道メーター検査

計量不審の疑いがあるメーターについて、計量法上の使用中検査に基づく試験を行う。

計画	お客さまからの問合せ等の都度対応
実績	該当する事象はなし
今後	継続して実施

c. メーター交換

メーター検定満期に伴う交換と、お客さまへの事前通知。

計画	<p>【検定満期に伴う交換】61 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第 1 四半期：1 件 ➤ 第 2 四半期：3 件 ➤ 第 3 四半期：57 件 ➤ 第 4 四半期：0 件 <p>【故障に伴う交換】随時交換</p>
実績	<p>交換：3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 検定満期：1 件 ➤ 故 障：2 件 (第 3 四半期、検定満期分のうち)
今後	<p>検定満期に伴う交換を実施</p> <p>故障の際、交換を実施 (随時)</p>

II-4 その他

ア) 災害への対応

計画	災害対応活動を迅速・適切に実行できる体制の整備 災害対応訓練の実施
実績	【事業継続計画（BCP）】 BCPに基づく災害対応活動体制の整備 BCP訓練実施要領の策定、主要関連企業との災害支援協定の協議他 【緊急連絡体制】 休日夜間を含む緊急時連絡体制の確立・運用他 【事象の発生】 なし
今後	災害対応訓練を実施し、危機管理意識と災害対応力の維持と向上

イ) 事故への対応

計画	事故対応活動を迅速・適切に実行できる体制の整備 事故対応訓練の実施
実績	【事故対応活動】 事故対応マニュアルに基づき、事故対応活動の体制を整備 【緊急連絡体制】 休日夜間を含む緊急時連絡体制の確立・運用他 【事象の発生】 突発漏水に対して、緊急修繕を実施（8件）
今後	事故対応訓練を実施し、危機管理意識と事故対応力の維持と向上

III 事業収支

III-1 財務状況

(単位：百万円、税抜き)

	2022 (R4) 年度 第 1 四半期	2022 (R4) 年度 通期 (見通し)
経常収益	325	1,290
給水収益	320	1,238
その他	5	52
経常費用	293	1,254
経費 (人件費を含む)	245	1,110
減価償却費・支払利息	48	144
経常損益	33	36

2022 年度第 1 四半期の経常収益は 325 百万円。

【給水収益】 320 百万円 (単年度計画：1,238 百万円)

前年度と同水準 (大阪市 R3 第 1 四半期実績：320 百万円)

単年度計画比 26% で順調に推移

【経常費用】 293 百万円 (単年度計画：1,254 百万円)

単年度計画比 23% で順調に推移

【経常損益】 33 百万円 (単年度計画：36 百万円)

単年度計画比 92% で推移

III-2 各種使用水量

項 目	前第 1 四半期 (R3.4~6)	当第 1 四半期 (R4.4~6)	前年度比
給水量 (千 m ³)	5,038	3,976	▲26.67%
実使用水量 (千 m ³) *1	5,330	5,315	▲0.28%
責任使用水量 (千 m ³)	4,322	4,281	▲0.95%
超過使用水量 (千 m ³)	2,410	2,435	1.04%
調定水量 (千 m ³) *2	6,732	6,716	▲0.24%

*1 上水 (水道水) によるバックアップ水量含む

*2 調定水量 (料金対象) = 責任使用水量 + 超過使用水量

III-3 契約者数 (工場数)

	前年度末 (R4.3)	当第1四半期末 (R4.6)	前年度末 増減
契約者数 (工場数)	341	342	+1

(新規：1 件、中止：0 件)

IV 令和4年度第1四半期時点でのKPIの状況

令和4年度KPI目標値に対し、第1四半期時点ですでに達成した項目もあり、遅延や未達は生じず順調に進捗。第1四半期で実施しない項目は、今年度内に実施する計画としている。なお、今後もPDCAサイクルを回しKPIの達成に向け継続的に業務を実施する。

項目	業務	目標値	管理項目	期限	4月	5月	6月	累計
【施設管理業務】								
土木構造物 電気・機械設備 建築物・建築設備	健全度調査 (日常点検時等にあわせて実施)	通年 (1回/週以上)	実施回数	年度末まで	5回	7回	7回	19回
設備状態監視保全	選定・設置・監視	1施設	装置設置施設数	9月末まで	0施設	0施設	2施設	2施設
【管路管理業務】								
管路状態監視保全	漏水音センサの設置・監視	100%	監視率(監視個数/期首計画) ※期首計画:105個(58路線)	9月末まで	45.7%	100.0%	100.0%	-
	衛星画像の取得	1回	実施回数	年度末まで	1回	0回	0回	1回
【お客さまサービス業務】								
給水収益や新たな収入源の確保	既存・新規利用者にPR・コンサルティングを実施	100社以上	コンタクト企業数	年度末まで	28社	5社	3社	36社
利用者とのコミュニケーション	満足度調査の実施	1回	満足度調査実施回数	年度末まで (2月予定)	0回	0回	0回	0回
【経営全般】								
事業体制構築	内部統制の確立	0件	監査報告書での重大な指摘	年度末まで	0件	0件	0件	0件

以上